

### 「わいわいストリート」大成功 初イベントで わ の実力発揮

理事 - 加藤 勇治

快晴のさる5月3日(祝)しあわせの村中央緑道で、親子連れや行楽客を対象に、手作りイベント“わいわいストリート”が催され、800人を超える参加者で大にぎわいでした。

このイベントはしあわせの村(こうべ市民福祉振興協会)が従来、業者に委託して、毎年5月に開催していましたが、本年はグループわが全面委託を受け、その実行力が注目される催しでありました。



お手玉やあや取りを楽しむ親子たち

「親子の絆を深め、心の通う」イベントとして企画し、わ本部、関係部会、地区会挙げて取り組んだ結果、従来をはるかに超える800名もの親子の参加がありました。今回の大成功でグループわの総合力(企画力、要員動員力、運営力など)を内外に印象付けました。

しあわせの村中央緑道沿いにテントを並べ、6つの昔遊びコーナー「ケン玉・独楽まわしコーナー」「紙ヒコーキ・折り紙コーナー」「ぴよんぴよん蛙・紙トンボコーナー」「折り染めコーナー」「木のおもちゃ作りコーナー」「竹馬・竹ゲタコーナー」を設け、関係者総動員で対応しました。

この日、しあわせの村を訪れた親子連れの目を惹き、人気を独り占めする催しでした。いずれの体験コーナーも昔遊びに熱中する親子で終日賑わいました。なかでも文化部の「一寸奉仕」クラブの皆さんが大道芸人に扮し大活躍。講釈師が面白おかしく演じた口上と、一座の全員が披露した玉簾の妙技がイベントを盛り上げ、楽しい催しに色を添えました。

### 「七夕飾り作り」に参加して

福1文 杉田 明子

7月2日 フルーツフラワーパークでのイベント「七夕飾り作り」の日は予報通り朝から雨。「どうか、止んで欲しい」の願いが通じたのか、正午近くには殆ど上がり、ぼつぼつお客様がやってこられました。

折り紙グループの榊田さんのアイデアによるオリジナルの舟飾りや、華やかな網、可愛い折り紙のお人形など、この下準備はさぞ大変だったことでしょう。会場の大笹には、色とりどりの飾りが、賑やかに付けられてお客様を待ちます。



七夕飾りをもらって大喜びの子どもたち

開店早々には、グループわの事務局の皆さんがサンプルを作ってPRもして下さり、お客様もだんだん増えてきて、手元はにわかに忙しくなりました。出来上がったものをただ付ける

のではなく、出来るだけ自分の手作りを付けてもらうことにしました。瞬間に出来上がった赤い提灯を、見つめる子供達の笑顔がとてにぎやかでした。

今は流すこともなくなった笹飾りですが、せめて数日でも、部屋に飾っ

て、自分の夢や、願い事を書いた短冊を見ながら、なにか、ロマンを感じてくれたら...と思いました。参加下さった皆様 どうもお疲れ様でした。

### 季節の草花 生8 - 久保 知彦

## ヘクソカズラ

林や草地に生えるアカネ科の多年生つる草で、茎は左巻きに他の植物などからみついて上へのびて行く。つる性の植物は茎が弱いくせに、他にからみつくことによりどんどん延びていく生命力の強さを持っている。

この植物を紹介するときには、葉をもんでおいを嗅いでもらうとその悪臭に驚く。そこで、ヘクソカズラという名前をいうとすぐ納得する。漢字で書くと「屁糞蔓」というあまり名誉でない名前がついている。この様な名前とは裏腹に、7月ごろ、中心部が赤紫で外側が鐘状のかわいい白い花をつける。この花の色がお灸をすえた痕のように見るとか、花を体に押し付けてヤイトをして遊んだりした(ヤイトも今では死語になったか?)のでヤイトバナの別名がある。

このほうが似つかわしいとも思うが本名がヘクソカズラだから仕方がない。この悪名では可哀想なのでサオトメバナ(五月女花)という雅号ももらっているようだ。

「灸花 貧乏神の 匂ひとも」猿山木魂

